

研究分野のキーワード：養護教育学，養護実践，保健室経営，相談活動，保健学習，保健指導

研究紹介

養護教育講座では、唯一の養護教育学の専門家であり、養護教諭経験者でもあります。そのため、大学の授業では、主として「養護教諭論」「養護概説」「養護活動実習Ⅰ」「養護活動実習Ⅱ」「養護活動演習」、大学院での授業では「養護教育学特論」「養護教育学演習Ⅰ」「養護教育学演習Ⅱ」「養護実践研究Ⅰ」といった“養護教諭の仕事に直結する科目”を担当しています。

これらの授業を通して、一人でも多くの立派な養護教諭を育てたいというのが私の願いですが、今、学校で働いている養護教諭の先生方がどんな子どもたちに出逢い、どんな関わりに努力し、どんなことに喜びかつ悩んでいるのかを知らなければ、学生たちに学校現場で役立つ現実的な授業を提供することはできません。

そこで、私は次のようなことを研究の柱としています。一つ目は、養護教諭の先生方の日々の実践を研究的にまとめて公表する方法を教示すること（研究的実践と実践的研究のススメ）です。二つ目は、養護教諭の先生方が専門を発揮するための拠り所となる学会組織を充実させて養護学や養護教育学の構築をすることです。

例えば、学会での研究発表や論文のタイトルは、「養護教諭の専門性を支える学問の構造化試案」「養護実践力の育成を目指す養護教諭養成カリキュラムの検討」などとなります。

これらの表記ではわかりにくいかもしれません。簡単に言えば、養護教諭の先生方が子どもたちの健康や育ちのために頑張っている姿を認め、どこがどのように立派なのかを他の人に伝えるためのお手伝いをしているということです。

また、最近の4年生が取り組んだ卒業研究は、保健室来室者への対応、朝の健康観察、災害時の養護教諭の対応、学校保健委員会の開催、熱中症対策などがあり、「子どもの健康状態のこと」「養護教諭の仕事のこと」「学校全体での取り組みのこと」など多面的に取り組むことで、卒業後の養護教諭の仕事に役立つような学びをサポートしています。

先にも述べたように、学校の今や養護教諭の先生方の今を見つめながら、養護教諭という職業の未来像を提案していくことが私の仕事であり、専門です。そんな専門を生かして、養護教諭を目指す人たち、養護教諭になっている人たちとともに研鑽を重ねています。